

## 日本統合医療学会 認定資格者の会

同会合が、2010年1月11日(月)14:00~16:00、東京大学医学部図書室333号室において行われた。

認定資格を有する医師、看護師、薬剤師および鍼灸、ヨーガ、カイロプラクティックなどのCAM療法士約90人が集まった。

学会側より、渥美和彦理事長、阿岸鉄三副理事長、蒲原聖可、福岡博史両理事、黒川事務局長を始め、事務局員が参加した。

始めに、渥美理事長が、1月5日、鳩山由紀夫首相と会い、統合医療国家プロジェクトの説明を行い、推進を要請し、前向きの協力の方向を得たとの報告があった。今後、わが国において統合医療の展開が、九州大学、東北大学などを中心として各地において始まるに際して、優秀な人材の需要が高まる動向を示し、認定資格者の重要性を強調した。

- そこで、
- 1) 各専門分野での連携
  - 2) 異職種分野の連携
  - 3) 地域における連携

などをふまえた、ネットワークづくりが必要である事が述べられた。

そこで、蒲原聖可、福岡博史両理事の司会の下に、参加者からの意見を述べる事となった。

蒲原聖可：資格制度の目的について

- ① 統合医療推進の専門職の養成
- ② 地域における異職種の人材のネットワーク
- ③ 科学的根拠、現場症例のフィードバック

福岡博史：患者中心の統合医療のモデルづくり

阿岸鉄三：ネットワークづくりが大切で、同じ価値をもった網の目の結び目となって欲しい

以後、2時間にわたり熱い討論が行われたが、その主な点について列記する。

- ・ 各職種間、地域間におけるネットワーク構築
- ・ 臨床例の蓄積データベース
- ・ アリゾナ・ワイル塾の日本版
- ・ 指導医、認定施設の認定
- ・ 看護部門の充実
- ・ 統合医療普及のためのガイドパンフレットの作成
- ・ がんへの統合医療のアプローチ
- ・ 地方講演会

- ・ 患者団体などとの現場での連携
- ・ 草の根運動の展開
- ・ 学会、協会 組織の強化
- ・ 医療のみならず、予防、保健への展開
- ・ 混合診療
- ・ 健康産業としての統合医療

次いで、代表世話人が下記の如く選出された。

- ・ 医師 : 熊代永、一石英一郎、吉田紀子、宮里好一
- ・ 歯科医 : 福岡博史、足立清、野瀬博之
- ・ 看護師 : 猪俣千代子、有馬佐和子、緒方昭子、小久保美香
- ・ 薬剤師 : 相川さち子
- ・ 鍼 : 篠原昭二、和辻 直
- ・ カイロプラクティック : 竹谷内宏明、中島旻保
- ・ ヨーガ : 鈴木八重子、のままりこ

閉会后、懇親会が開かれ、参加者の間での交流が行われた。

学会としては、皆さんの声を分析して、可能な限り要望に答える方向で努力したいと考えています。